

□日 時：平成30年5月13日（日）午後2時から
□場 所：熊本県国際交流会館パレア 第1会議室

「ピースくまもと(仮)」設立準備会 発足会



73年前の1945年5月13日

～米空母ランドルフ艦載機による菊池飛行場の空襲映像～

1 開会挨拶



大甲橋横の熊本空襲慰霊碑

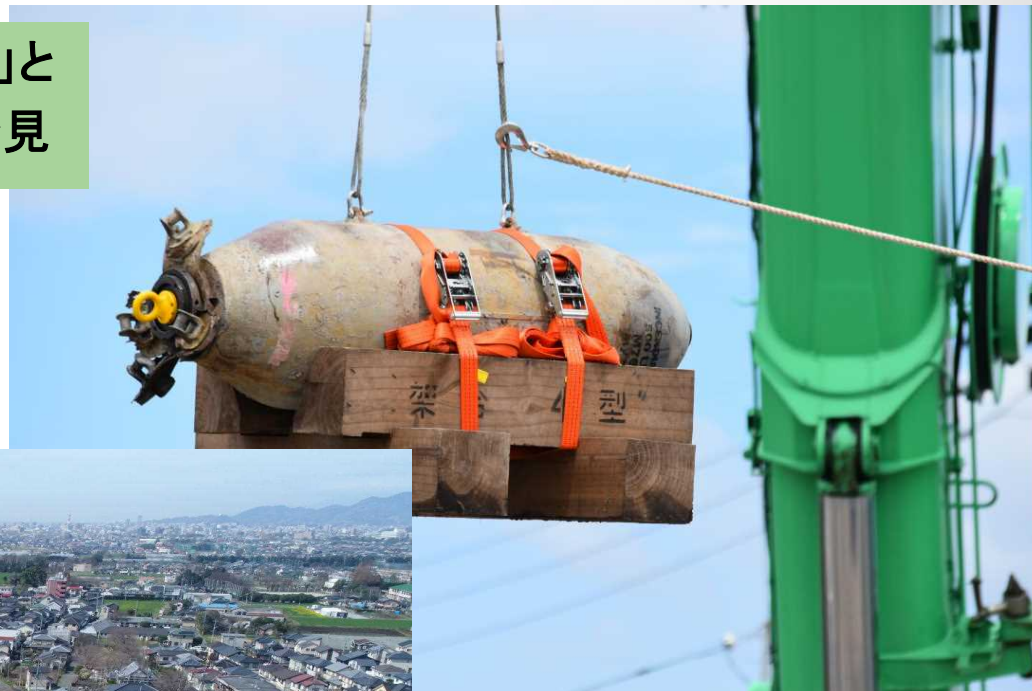
ピースくまもと設立準備事務局会
会長 小山 和作

2 戦争と平和のミュージアム 「ピースくまもと(仮)」 経緯・骨子案・今後の活動

ピースくまもと設立準備事務局会
事務局長 高谷 和生

二つの出来事

熊本市画図町での不発弾「M76焼夷弾」と
戸島本町での「健軍飛行場掩体壕」の発見



設立の経緯

熊本に、戦争と平和のミュージアム設立に向けて

戦後73年が目前となり、戦争の証言、体験を語れる人々が激減し、いま戦争のない平和な社会を持続するためにも、この惨劇を次世代に語り継ぐ事が急務です。



大浜飛行場見学会での有明中学校生徒の発表



新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」

戦争体験の証言会、聞き取り活動、体験の継承

新老人の会 戦争を語り継ぐ会
例会100回記念シンポジウム
“平和を求めて”

新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」

例会100回記念シンポジウム「平和を求めて」の様子



「戦争遺産フォーラムくまもと」の活動

地域の平和活動団体(生協くまもと)との“イノベーション”としての
「戦後70年 米軍資料から熊本空襲を考える！」講演会
平成27年8月9日:熊本県民交流会館パレアホールにて、200人参加



熊日・RKK・熊本市協賛

「平和のバトン展 熊本の戦時資料の展示、戦争遺跡の紹介」

平成27年8月 熊日びぷれす会館

組織体制

戦争遺産フォーラムくまもと

くまもと戦争遺跡・
文化遺産ネットワーク（玉名市）

平和憲法を活かす熊本県民の会
（熊本市）

熊本の戦争遺跡研究会
（熊本市）

人権NPO ちなもい
（八代市）

花房飛行場の戦争遺産を
未来につたえる会（菊池市）

荒尾二造変市民の会
（荒尾市）

人吉・球磨の戦争遺跡を伝える
ネットワーク
（人吉市）

合志の近代遺産を学ぶ会
（合志市）

県民運動
「ピースくまもと（仮）」
設立準備会

新老人の会「戦争を語り継ぐ会」

設立骨子案



本事務局会では、全国各地の平和資料館等の調査を独自に行い、その協議結果を取りまとめながら、**県民一人ひとりが主役の「県民運動」**として広げ、いま熊本に戦争と平和を考えるミュージアム設立の必要性を痛感しました。

今回このように、私たちは設立骨子案をとりまとめ、**熊本に戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立準備会**を発足させ、本骨子案を提案いたします。

「ピースくまもと（仮）」 骨子案「目指す三つの姿」

1 項目 熊本空襲を調査・記録し、 未来に継承する！

- ①熊本空襲の被害の実態を調べ、記録し、語り継ぐ場
- ②平成7年熊本市平和都市宣言にそった犠牲者への追悼・慰霊の場

昭和20年7月1日・8月10日の「熊本大空襲から72年」

- 空襲被害の構図の見直し 「元軍人等は恩給・年金を支給したが、民間人の空襲被害者の救済は放棄」 ※ドイツ・フランスは被害者補償
- 県・市での「被害の実態調査、追悼施設の設置」が必要
- 「戦争被害受忍論」は限界

2 項目 熊本の戦争の歴史と

その遺産に学ぶ！

- ①軍都熊本の「戦争の歴史」を学び、平和を考える場
- ②県内の戦争遺産（戦争遺跡や戦時資料、地域づくり）の情報発信の場
- ③貴重な戦争体験「記憶の遺産」に学び、新たな観光の視点を活かした戦争遺産観光ガイドンスの場

「戦争の歴史」での学び、平和への願い、新たな学び

□観光集客(軍服コスプレ等)優先での本質逸脱の危惧

□熊本でも「貴重な戦争体験・記憶の遺産」継承での、沖縄や広島・長崎での実践手法の学びが必要

3項目 次の世代が“学び！体験し！ ヒトに伝える！！”

- ①熊本の戦時資料を調査し、収集し、バーチャルミュージアムとして発信する場
- ②証言や語りを通して次の世代が、熊本の戦争の実相を学び、現在の戦争を考える平和学習の場
- ③十五年戦争全般に関わる5,000点に及び戦時資料・書籍等を通し、次の世代に語り継ぐ場
- ④次世代の子ども達が「Peace Messengers」を発信する場

今後の活動に向けて

[ホーム](#)[設立骨子（案）](#)[活動状況](#)[資料収集](#)[お問い合わせ](#)

INFORMATION

2018-05-13 「ピースくまもと（仮）」設立準備会発会式を行います。
於 くまもと県民交流館バレー第一会議室

2018-04-08 第2回「ピースくまもと（仮）」設立準備事務局会を行いました。
於 熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集客室

2018-03-24 「戦争遺産フォーラムくまもと」。新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」の合同研修会を行いました。
於 熊本市国際交流会館5階大広間A

ピースくまもと（仮）設立準備会事務局から

戦後73年が目前となり、戦争の証言、体験を語る人々が激減し、いま戦争のない平和な社会を持続するためにも、この惨劇を次世代に語り継ぐ事が急務です。

私たちピースくまもと設立準備会事務局は、これまで新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」並びに「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会を母体として、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」の大切さを認識し、戦争体験の証言会、聞き取り活動、体験の継承を、さらに県内に残された戦争遺産の調査保存、戦時資料の調査や公開、戦争遺産を通しての地域づくりを進めてきました。

本事務局会では、全国各地の平和資料館等の調査を独自に行い、その協議結果を取りまとめながら、いま熊本に戦争と平和のミュージアム設立の必要性を痛感しました。

今回、私たちは設立骨子・活動方針（案）等を取りまとめた「戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと（仮）”」設立準備会を発足させます。

ピースくまもと（仮）設立準備会事務局

- ・ 高谷和生 戦争遺産フォーラムくまもと（事務局：くまもと戦争遺産ネット）
- ・ 久米野安俊 新老人の会熊本支部
- ・ 三崎康貴 戦争遺産フォーラムくまもと

[←ページのトップへ戻る](#)

くまもと戦跡ネットHP内に「ピースくまもと（仮）」設立準備事務局会の紹介

<http://www.kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>



戦後70年熊日・RK
K主催「くまもと戦争
遺産の旅」での黒
石原奉安殿での見
学様子

「くまもと戦争遺産の旅」

「熊本の戦跡をめぐり、証言者と戦争遺跡から
平和を考える」旅への企画・協力・当日案内



展示予定の絵本「クウシフ」と「赤ちゃん用防空頭巾」

「絵本・戦時資料から見た熊本空襲」

熊本市立図書館 7月10日～8月26日

くまもと戦跡ネット・夏の平和展への後援、支援



□松山強さん戦時資料「海軍クレヨン・報国えのぐ」

「戦争を語り継ぐ会」オープン講座

今年度後半期・場所未定

戦争を語り継ぐ会例会への後援・支援

今後の活動に向けて:事務局内

A部会：コンセプト

活動趣意書
活動方針
設立署名活動
設立募金活動
賛同者・賛同企業の募集
行政からの支援での各種提案
他

C部会：体制整備

啓発活動のあり方
HP内容の検討
事務局体制・運営資金整備
事務局活動拠点の確保 他

B部会：展示

展示「三本の柱」の具体化
下位項目の整理
資料調査と収集活動 他

荒尾二造資料館の開館

平成30年4月30日開館



東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所 平和資料館
<https://araonizourikugunkayaku.localinfo.jp/>

3 意見発表

発表1「熊本空襲の体験を 未来に継承する」



熊本市
赤木 満智子氏

空襲後の熊本市街

発表2「熊本の戦争と その遺産をどう伝えるのか」 ～菊池飛行場ミュージアムの事例～



熊本市
永田 昭さん

菊池市指定文化財「花房飛行場跡給水塔」

2V 5M317 3PR XX1BC 7.

0000

RESTRICTED

[休息]

1945年7月3日撮影 熊本市街地空襲の損害状況(F13機・作戦用務5M317)●24

発表3「戦時資料へのおもい」

～次の世代が学び、伝える～



宇城市
上村 真理子さん

戦時資料「防諜貯金箱」
上村真理子さん所蔵

4 質疑・意見交換



くまもと戦跡ネット主催

- 平成29年城南図書館での「絵本・玩具から見た戦争」展の展示様子

5 設立準備会の 発足宣言



新老人の会熊本支部
事務局長 久米野 安俊



6 閉会挨拶

73年前の熊本

1945年5月14日米空母
ホーネット艦載機撮影の
健軍飛行場と三菱重工
業熊本航空機製作所

ピースくまもと設立準備事務局会
副代表 安藤 富士記

7 アンケート記入



新発見の45年7月撮影の玉名飛行場空撮写真 工藤洋三氏提供